

## Ⅱ 申請書類の作成について（研究者作成分）

### 1. 【様式C-26】「繰越（翌債）を必要とする理由書」

#### (1) 繰越（承認）要求額

直接経費、間接経費及びその合計金額（単位：円）を記載してください。

なお、間接経費については、原則、直接経費の額に応じ30%相当額を繰り越すことになっていますが、研究機関において既に全額執行している場合や、執行予定額が決まっている場合は、直接経費のみを繰越申請してください。

(留意点)

※ 間接経費については、研究機関の事務担当者に確認してください。

#### (2) 当初計画及び変更後の計画

(ア) 「当初計画」は、交付申請書に記載された研究計画を時系列に簡潔に記載し、「変更後の計画」は、実施期間・実施内容の変更点を追記してください。

(留意点)

※1 変更・追加事項を簡潔に記載してください。また、実施期間はカッコ書きで、月単位に記載してください。

※2 当初計画は、平成21年4月から平成22年3月までとなります。

※3 変更後の計画については、平成22年度中に完了することが見込まれている必要があるため、平成23年3月を越えることは認められません。

(記入例)

当初計画及び変更後の計画	
(当初計画) ・ 現地調査 (H21・8～H21・9) ・ 成果とりまとめ (H21・10～H22・2) ・ 成果発表 (H22・3)	(変更後の計画) ・ 予備調査 (H21・9) ・ 現地調査 (H21・10～H21・11) ※ 2ヶ月遅延 ・ 成果とりまとめ (H21・12～H22・4) ・ 成果発表 (H22・5)
繰越事由が発生した時期 平成21年9月	補助事業の完了時期 平成22年5月31日 2ヶ月の延長

#### (イ) 繰越事由が発生した時期

交付申請書の提出以前に判明・発生していたものは対象になりません。

#### (ウ) 補助事業の完了時期

補助事業の完了予定時期を記載してください。

平成22年度中に完了する見込みがあることが必要です。

#### (3) 当初の研究計画（研究概要）

「当初計画」の記載内容に沿って、いつまでに、何を行う予定であったかを簡潔に記載してください。

(4) 事由

様式C-26欄外の注書きから該当するものを選んでください。

「①キ 計画に関する諸条件」及び「⑥ウ 資材の入手難」に該当する場合は、【別添3】「繰越（翌債）を必要とする理由書（C-2）記入例」を参考に具体的な内容を記述してください。

(5) 繰越事由（「記号等」）

繰越事由（記号等）	該当する事例
①エ 計画に関する諸条件 （計画の変更）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究途中に当初予定していた結果を得られないことが判明し、研究内容・方法を見直す必要が生じた場合</li><li>・ 専門家からの指摘や他に参考とすべき資料の発見により研究方法の見直しが必要となった場合</li><li>・ 現在の社会情勢を考慮し、研究内容の再検討する必要がある生じた場合</li></ul>
①キ 計画に関する諸条件 （・・・・・・・・） ※右欄を参照	<p>（新たな知見の発見）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究目的を達成するにあたり、新たな知見を優先して詳細に調べる必要が生じた場合</li><li>・ 研究目的を達成するにあたり、他の研究グループが国内外で発表した新たな知見を検討する必要がある生じた場合</li></ul> <p>-----</p> <p>（研究協力者の確保難）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 現地災害の影響により研究協力者の渡航が困難となり、調査日程を再調整する必要がある生じた場合</li><li>・ 研究協力者の都合により、研究計画の参加が困難となり、代替者の確保等のため研究計画に遅延が生じた場合</li><li>・ データ収集に協力いただく協力者が体調不良により予定していたデータ収集の確保が困難になり、データ解析に遅延が生じた場合</li></ul> <p>-----</p> <p>（研究協力機関の事情）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 急激な社会情勢（経済・治安）の悪化により研究機関の協力が当初の予定通り得ることができず、再度、日程調整を行う必要がある生じた場合</li><li>・ 共同研究を行う予定が、研究協力機関の都合により急遽延期となり、共同研究の実施に遅延が生じた場合</li></ul> <p>-----</p> <p>（装置の開発遅延）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 業者からの資材の納品遅延により、当初の装置開発に遅延が生じた場合</li><li>・ 装置開発段階で想定外の不具合が発生し、計画を見直す必要がある生じた場合</li></ul>

繰越事由（記号等）	該当する事例
①キ 計画に関する諸条件 (・・・・・・・・・・) ※右欄を参照	(機器の故障) ・研究協力機関に設置されている使用予定の機器が故障し、実験着手に遅延が生じた場合 ----- (その他) ・雇用情勢の悪化により、研究対象となる研究協力者の確保が困難となり、調査の着手に遅延が生じた場合 ・国内外の学会の開催が、主催者等の都合により延期となり、研究成果の取りまとめに遅延が生じた場合
⑥ウ 資材の入手難 (・・・・・・・・・・) ※右欄を参照	(マウス等実験動物の確保難) ・実験に使用するマウスの繁殖・作成が予定通り進まなかったために、実験着手に遅延が生じた場合 ・遺伝子改変マウスが想定外の感染事故により使用できなくなり、当初計画に遅延が生じた場合 ----- (資材・試料・資料の入手難) ・資料提供先の都合により、遺伝子解析に必要な実験動植物の入手が困難となり、実験着手に遅延が生じた場合 ・原因不明の病気や環境の急変により、実験に使用する植物の入手が困難となり、計画に遅延が生じた場合
⑦ア 研究に際しての 事前調査の困難	・事前調査の結果を踏まえ、再度研究計画を見直す必要が生じた場合 ・事前調査に当初の予定以上に時間を要し、研究計画に遅延が生じた場合
⑦イ 研究方式の決定の 困難	・経過観察等に当初の予定よりも多くの時間を要し、研究方法の決定に遅延が生じた場合 ・研究対象の範囲を広げ、再検討を行う必要が生じた場合
③ア 気象の関係 (豪雨)	・豪雨または小雨の影響で、観測実験が行えなかった場合 ・豪雨の影響で、調査対象地が災害にあった場合
③イ 気象の関係 (豪雪)	・豪雪の影響で、雪崩が頻発し安全性の確保が困難な場合 ・豪雪の影響で、観測地域への立ち入りが困難な場合
③ウ 気象の関係 (風浪)	・風浪の影響で、調査海域の安全性の確保が困難な場合 ・風浪の影響で、調査海域が悪天候となり限定された船舶しか現地へ行けず、その船舶の使用が困難な場合
③エ 気象の関係 (その他)	・日照時間の減少の影響で、植物が生長しなかった場合 ・台風の影響で現地調査が困難な場合 ・落雷による火災で現地調査が困難な場合 ・大規模な地震により現地の施設の使用が困難な場合 ・黄砂飛散量の増減が影響した場合

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号：                      研究機関名：  
 課題番号：                      繰越(翌債)承認要求額：                      円    (内訳：直接経費                      円 ・間接経費                      円)  
 研究課題名：

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<当初計画>	<変更後の計画>	(研究概要) ※2～3行程度
		事由(注)
		記号等 ( )
		(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3行程度
繰越事由の発生した時期 平成 年 月	補助事業の完了時期 平成 年 月 日： ヶ月延長	

(注) 以下の事由(記号等)については、具体的な内容の記載をすること	具体的な内容を記載する必要がない事由(事由(記号等)のみを選択)
①キ 計画に関する諸条件(新たな知見の発見) (研究協力者の確保難) (装置の開発遅延) (機器の故障) (その他(内容))	①エ 計画に関する諸条件(計画の変更)
⑥ウ 資材の入手難 (資材及び資料の入手難) (マウス等実験動物の確保難) (その他(内容))	⑦ア 研究に際しての事前調査 ⑦イ 研究方式の決定の困難 ③ア 気象の関係(豪雨) ③イ 気象の関係(豪雪) ③ウ 気象の関係(風浪) ③エ 気象の関係(その他)

様式 C-26

「当初計画」に記載の項目及び予定と、「研究概要」の記載内容・時期が一致するように記載してください。

繰越（翌債）を必要とする理由

「研究概要」には、「当初計画」欄の記載内容に沿って、いつまでに何を行う予定であったかを簡潔に記載してください。

機関番号：10205

研究機関名：虎ノ門大学

課題番号：21852162

繰越(翌債)承認要求額：1,300,000円（内訳：直接経費 1,000,000円・間接経費 300,000円）

研究課題名：〇〇理論に関する〇〇的研究

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<p>&lt;当初計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前準備 (H21. 4～H21. 6)</li> <li>○ 〇〇論精査 (H21. 7～H21. 8)</li> <li>○ 〇〇会議開催 (H21. 9)</li> <li>○ 〇〇的理論精査 (H21. 10～H22. 1)</li> <li>○ 成果とりまとめ (H22. 2～H22. 3)</li> </ul>	<p>&lt;変更後の計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前準備 (H21. 4～H21. 6)</li> <li>○ 〇〇論精査 (H21. 7～H21. 8)</li> <li>○ 〇〇会議開催 (H21. 9)</li> <li>○ 〇〇的理論精査 (H22. 3～H22. 7) ※ 6ヶ月の遅延</li> <li>○ 成果とりまとめ (H22. 8～H22. 9)</li> </ul>	<p>(研究概要) ※2～3行程度</p> <p>平成21年9月に〇〇調査結果を検討する〇〇会議を開催し、会議での検討結果を踏まえ、〇〇を専門とする研究協力者に参画の内諾を得て、〇〇的理論を精査し、平成22年3月までに研究成果を取りまとめる予定であった。</p>
<p>完了時期と一致します。</p>		<p>「変更後の計画」には、当初計画からの内容・時期の変更点を追記してください。</p>
<p>繰越事由の発生した時期 平成21年8月</p>		<p>事由(注)</p> <p>記号等 ① キ 計画に関する諸条件(研究協力者の確保難)</p> <p>(①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2～3行程度</p> <p>平成21年8月、研究協力者の都合により、急遽本研究に参画できなくなった旨の連絡があり、〇〇的理論の精査の着手に6ヶ月の遅延が生じた。</p>
<p>補助事業の完了時期 平成22年9月30日：6ヶ月延長</p>		

繰越事由の発生した時期を記載してください。

記号等が、「①エ 計画に関する諸条件(計画の変更)」、「⑦ア 研究に際しての事前調査」、「⑦イ 研究方法の決定の困難」及び「③ア～エ 気象の関係」に該当する場合は、本欄への記載は不要です。